

スボーツでいい汗を・

各種市民スポーツ大会が、

十五歳以上の既婚婦人また

に参加料を添えて社会体育

課へ

は三十歳以上の女性で、チ

ーで、四日以降に発熱し

次のように一齊に開かれま

す。ご参加ください。

各大会ともわくわくは社

会体育課へ

へお問い合わせください。

マラソン

□とき:六月十四日(日)

バスクケットボール

接種を受けさせないでください。

剑道

□とき:六月十四日(日)

アーチャー

接種後五日十日間に

水泳

□とき:六月八日まで

午までに麻疹の予

柔道

□とき:六月二十一日(日)

アーチャー

防接種を受けている

卓球

□とき:六月四日(日)

アーチャー

対象者:昭和六十

テニス

□とき:六月八日まで

アーチャー

年六月三十日に生ま

弓道

□とき:六月八日まで

アーチャー

たり、三日以上続く発熱があ

拳銃

□とき:六月八日まで

アーチャー

れた幼児。なお、こ

射箭

□とき:六月八日まで

アーチャー

れまでに麻疹の予

空手

□とき:六月八日まで

アーチャー

接種を受けた幼児も、

剣道

□とき:六月八日まで

アーチャー

い六歳未満の幼児も、

柔道

□とき:六月八日まで

アーチャー

接種を受けた幼児は

柔道

□とき:六月八日まで

アーチャー

今回受けたことがで

柔道

□とき:六月八日まで

アーチャー

きます。

柔道

□とき:六月八日まで

アーチャー

十五歳以上の既婚婦人また

水泳

□とき:六月八日まで

アーチャー

は三十歳以上の女性で、チ

高木明治夜話

(134)



重ねられてはいるが、之は数年後に刊行された長谷川伸の「八十二歳の敵に於て引難が」である。夏も間近ですが、本格的な水泳シーズンの到来を前に、見る見る久米復活史談に於べきである。

久米幸太郎が氣仙沼の松前航行の所や、梅浜等に行く前に、旅の二人の虚無僧に乱暴された話は見られない。

然るに富田氏の「東北の秘史逸話」を見ると、梅浜寺に赴く前のこととして、

名取郡富沢村善門寺に隠れていた仇体右衛門を探索する。

(2) 幸太郎の松前(北海道)行。

(3) 幸太郎が氣仙沼の宿で三週間ばかり大病に罹ったこと。

(4) 旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲されたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

異説四十年目の敵討(XI)

阿達義雄

…………

「シテどこへ行かれたか御

存じの方はありますまいか

だ。」

「全く不思議な和尚様でし

たが、六、七年前に寺を出

て今は、久米幸太郎の松前航行の所や、梅浜等に行く前に、旅の二人の虚無僧に乱暴された話は見られない。

然るに富田氏の「東北の

秘史逸話」を見るに、梅浜寺に赴く前のこととして、

仙波郡浜田村善門寺に隠

れていた仇体右衛門を探索する。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。

（3）幸太郎が氣仙沼の宿で三

週間ばかり大病に罹った

こと。

（4）旅の二人の虚無僧によつて、幸太郎は散々打撲さ

れたこと。

という幾つかのサスペンスが

暇を告げて急ぎ足に何処とも

とある。

（2）幸太郎の松前(北海道)行。